

第4学年3組 総合的な学習の時間 学習指導案

単元名：あなたにありがとう～スマイル大作戦～

男子 15名 女子 15名 計 30名

指導者 三國 友香

単元について

- 本学級の児童は、第3学年の総合的な学習の時間の「ふしぎ発見！海田町」で、「地域・福祉」をテーマに探究的に地域の様子を調べたり、福祉についての体験活動を行ったりした。特に、地域がテーマの「海田東小魅力いっぱいツアー」では、情報収集した海田町の情報を整理分析し、ガイドツアーというかたちで保護者に対して発表し、主体的に表現することを経験している。

第4学年の1学期「もっと知ろう 海田の自然」では、校区内を流れる瀬野川的环境について、川に入って積極的に指標生物を探したり、事前に質問に内容を考え、河川敷を歩いている人に物怖じせず次々とインタビューをしたりして情報収集をし、主体性を発揮している。人とかかわることが好きで、自分が「知りたい」「探したい」と思ったことに対して、積極的に活動を行うことができる児童たちである。7月に行ったアンケートも、「課題を解決するために、進んで、資料を集めたり取材をしたりしている」の項目が92%で、課題に対して主体的に取り組み、情報収集をしようとしている傾向が伺われる。

一方、活動に主体的、意欲的に取り組んでいるものの、「自分の考えとその理由を明らかにして、相手に分かりやすく伝えるように発表を工夫している」の項目は12%という結果である。学校生活の中でも、自分の思いを伝えることが苦手な児童や、相手の思いを考えて行動することが難しい児童がいる。そのため、整理・分析して思考し考えを伝え合う場面では、グループ活動を設定し、協働的に学ばせる中で、自分の考えを明らかにし、表現させるための工夫が必要である。

- 本単元「あなたにありがとう～スマイル大作戦～」では、「つながり」をテーマに、校区内にある小規模多機能型居宅介護「海田じらく房」との交流を行う。見学でそこに通われている高齢者とふれあうことを通して、人の立場に立って、楽しんでもらえる活動を自分たちが企画し、交流会を開く。

この学習を通して、高齢者のために何ができるか自ら課題を見付け、主体的に課題解決しようとする力や、さまざまな立場の人とかかわる喜びやあたたかさの大切さを感じ、人のために何かをしたり、生活の中で人とよりよくかかわろうとしたりする力を育てることをねらいとしている。また、国語科の「メモの取り方をくふうして聞こう」の学習とかかわらせて必要な情報を聞き落とさないようにインタビューをする経験をつむことで、進んで情報を収集し、整理・分析して思考する力も身に付くと考えられる。

- **課題発見力** **課題を発見・解決する力**

課題設定においては、児童に小規模多機能型居宅介護「海田じらく房」の存在に気付かせ、訪問する体験を通して、そこに通われている高齢者の方々にふれあう中でやさしさやあたたかさ等に触れ、「もっとかかわりたい」「一緒に楽しい活動をしたい」という意欲を喚起させることに留意する。そのために、導入では、3年生での「福祉」の活動を振り返り、バリアフリーや体の不自由な人のための街の中にある様々な工夫を想起する。さらに、介護施設の地図や写真を見ながら、校区内に小規模多機能型居宅介護「海田じらく房」という施設があることに気付かせることで興味付けをする。次時で

「海田じらく房」を訪問し、施設の中を見て回りながら説明を受けたり、通われている方と一緒に活動や交流をしたりすることで、「『海田じらく房』の方たちともっとかかわりたい」「自分たちが企画した活動で、楽しく交流したい」という願いを児童から引き出すようにしたい。そして、「海田じらく房」の訪問で分かったことや感じたこと、取材活動で集めた情報を関わらせながら自分たちで活動を企画し、「海田じらく房」の方たちが楽しめる交流会を開くという単元のゴールを児童と共に設定する。

○課題追究・情報活用能力 **深く考える力**

「海田じらく房」の方たちとの活動を考えていくには、実際に「海田じらく房」の方たちとのふれあいで得た実感を伴った経験と取材活動で集めた知識とを関連付けながら交流会にふさわしい活動を考える力が必要となる。本単元で育成したい思考の力は、経験と知識を関連付ける力や、交流会にふさわしい活動を高齢者の立場等から多面的に考える力である。

「海田じらく房」への訪問での経験と知識とを関連付けて交流会の活動を決めていく際には、「座標軸」を用いる。「『海田じらく房』の方たちと一緒にしやすいか」「『海田じらく房』の方たちが楽しめるか」の視点で、経験と知識を関連付けながら活動を座標軸の中に整理し、交流会にふさわしい活動を考えていく。常に「『海田じらく房』の方たちにとって」という相手意識をもたせて大切にしながら思考させることに留意して座標軸で整理させる。

また、実現できそうな活動についてさらに分析するために、「マトリクス」を用い、活動のよいところと問題点を整理させる。提案した活動について「海田じらく房」の方たちの立場でよい点と問題点を多面的に考えさせることで、さらに相手意識を明確にする。

このように、思考ツールを用いお互いの考えを可視化しながら、グループで協働的に学ばせることで、本学級の児童の課題である自分の考えを出し、お互いの意見を認め合いながら表現させることに留意する。

○自己の生き方 **自己を理解する力**

課題設定において、「海田じらく房」に訪問し、そこに通われている方たちとかかわりふれあう中で感じたことや思ったことについて振り返る時間を十分にとり、人とかかわることで感じる喜びやあたたかさ、高齢者から伝わってくる穏やかさややさしさ等を児童の発言から引き出し、「自分たちができることをしたい」という主体性をもたせる。その後、学習の計画を児童と共に立て、単元終了時のゴールの見通しをもたせる。ゴールに向けて、どんな交流会にしたいかを話し合う時には、「海田じらく房」の方たちの立場に立って考えることが大切だということに気付かせ、評価基準を児童と共に作成する。児童と評価基準の共有を図ることで、常に相手意識・目的意識をしっかりともちながら学習に取り組ませたい。振り返りの段階では、ビデオや写真などで活動を振り返り、新たな課題の発見につなげる。学びのモニタリングの時間には、自己評価の振り返りを書いたワークシートを基に、高齢者の方とのかかわりの中で学んだこと、自分自身の成長について考え、これからの生活に生かしていこうとする意欲をもたせる。

○コミュニケーション能力・自己表現力

「海田じらく房」の方たちとの活動を考えていく中では、話し合いの集団の中で異なる意見が出ることも予想されるが、その意見を肯定的に捉え、受け入れる力を身に付けさせたい。自分の意見も相手の意見も視点が明確であれば公平に扱い考える場をもたせることが必要である。そのため、交流会での活動について話し合う場面では、活動についての話し合いに至るまでに得た個々の経験や知識を引

き出し関連付けながら互いの意見のよい点、問題点の両面を考えることで、自分の意見も相手の意見も偏りなく分析し、公平に判断していくことの良さを実感させたい。

また、交流会本番では「海田じらく房」の方たちの様子に気付き、児童から声をかけることが必要になる。その力を付けるために、児童には施設への見学の際に職員の方たちがお年寄りとどのようにかかわりあっているかをしっかり確認したり、お年寄りが普段どんな様子で過ごしているかを把握することを意識させたりして、目的を明確にして施設への訪問を行わせる。

単元の目標及び内容について

- 「海田じらく房」での体験や、「海田じらく房」に通われている方たちとの交流会を計画することを通して、自ら課題を見付け、主体的に課題解決しようとする態度や、収集した情報を整理・分析し、多面的に考える力を育てる。
- 「海田じらく房」に通われている方たちとの交流を通して、人とかかわることの喜びやあたたかさを感じさせ、相手の立場に立ち思いやる心で他者と接する力を育てる。

〔学習方法に関すること〕

- ・「海田じらく房」の見学から、「海田じらく房」に通われている方たちのためにできることをしたいという思いをもち、よりよい交流に向けてどんなことができるか考える。 【課題発見力】
- ・「海田じらく房」に通われている方たちとの交流会に向けて収集した情報や経験を基に、「海田じらく房」の方たちが楽しめる活動を多面的に考える。 【課題追究・情報活用能力】

〔自分自身に関すること〕

- ・「海田じらく房」に通われている方たちとの交流を通して、人とかかわる喜びやあたたかさを感じ、自分のよさや可能性に気付いている。 【自己の生き方】

〔他者や社会とのかかわりに関すること〕

- ・「海田じらく房」に通われている方たちが楽しめるよう、活動内容や声かけを工夫しながらお年寄りと交流する。 【コミュニケーション能力・自己表現力】

<単元の内容> 身の回りの高齢者とその暮らしやよりよくかかわり合おうとする活動

単元の評価規準

学習方法		自分自身	他者や社会とのかかわり
課題発見力	課題追究・ 情報活用能力	自己の生き方	コミュニケーション能力・ 自己表現力
①これまでの経験や「海田じらく房」での体験から活動目標を決め、目標達成に向けて『海田じらく房』の方たちが楽しめる交流会を開く」という課題を見つけている。 ②課題解決に向けた活動計画を立てている。	①「海田じらく房」の方たちが楽しめる交流会を開くために、必要な情報を収集している。 ②提案した活動を「海田じらく房」での経験や取材活動で得た知識を基に多面的に考察し、交流会にふさわしい活動を考えている。	①人とかかわることのでられる喜びを感じ、自分のよさや可能性に気付くことができる。 ②「海田じらく房」の方たちとの交流を通して、自分にできることは何かを考え、日々の生活に生かそうとすることができる。	①グループの友達と意見交換しながら、異なる意見や考えを受け入れ、協働して課題を解決しようとしている。 ②「海田じらく房」の方たちに楽しんでもらえるよう、活動内容や声かけを工夫することができる。

指導と評価の計画

全 19 時間

次	時	学習内容	評 価					
			課	情	自	コ		
一	1	<p>課題の設定 (4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 3 年生までの学習を振り返り, 「人にやさしい町」について考える。 ・海田町内の地図や施設の写真を見て, 介護施設の存在を知る。 ・海田東小学校の近くに小規模多機能型居宅施設「海田じらく房」があることに気付く。 	○				<ul style="list-style-type: none"> ・ 3 年までの学習を振り返り, 「海田じらく房」に関心をもっている。【課①】 	行動観察 ワークシート
	2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「海田じらく房」へ訪問し, 施設や人々の様子を知る。 			○		<ul style="list-style-type: none"> ・ 「海田じらく房」へ訪問し, 施設の情報を収集している。【情①】 	行動観察
	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「海田じらく房」へ訪問し, 施設の説明を受けたり通われている方との交流を行ったりして施設内の様子を知る。 						
	4	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「海田じらく房」への訪問で分かったことや感じたことをまとめ, 課題を設定し学習計画を立てる。 ・ 分かったことや感じたことをまとめ, 「海田じらく房」の方たちと交流するという課題を設定する。 ・ 「海田じらく房」の方たちに楽しんでもらう交流会を開くというゴールの見通しをもち, 学習計画を立てる。 	○				<ul style="list-style-type: none"> ・ 「海田じらく房」への訪問についてまとめ, 課題やゴールの見通しを考えている。【課①②】 	行動観察
二	5	<p>情報の収集 (4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 交流会での活動の計画を立てるために, 「海田じらく房」を再度訪問するという計画を立てる。 ・ 「海田じらく房」への訪問のまとめを振り返る中で, 今ある情報だけでは交流会での活動を決定するのは難しいことに気付く。 ・ 交流会の活動を考えるために, 「海田じらく房」を再度訪問する計画を立てる。 	○				<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報の不十分さに気づき, 2 回目の「海田じらく房」への訪問の必要性に気づき, 計画を立てている。【課②】 	行動観察
	6	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「海田じらく房」で取材したい内容を考える。 ・ 「海田じらく房」の方たちが楽しめる活動にするために自分たちが知っておきたいことを付箋に書き出し整理しながら, 取材の計画を立てる。 			○		<ul style="list-style-type: none"> ・ 「海田じらく房」の方たちが楽しめる交流会を開くために必要な情報は何か考え, 書き出している。【情①】 	行動観察 ワークシート

取材活動

次	時	学習内容	評 価					
			課	情	自	コ	評価規準	評価方法
二	7 ・ 8	○必要な情報を得るために、2回目の「海田じらく房」への訪問を行う。必要に応じて、介護講座を受講する。 ・「海田じらく房」に通われている方の様子を見たり職員の方に相談したりする中で、必要な情報を収集する。		○			・「海田じらく房」の方たちが楽しめる交流会を開くために、必要な情報を収集している。 【情①】	行動観察 ワークシート
	9	整理・分析（3） ○交流会にふさわしい活動を整理して考える。 ・「海田じらく房」の方たちと楽しめそうな活動を考え、付箋に書き出す。 ・「海田じらく房」への2度の訪問で分かったことと家庭や書籍などの取材活動で得た情報を関連付けながら、設定した視点に沿って活動を座標軸上に整理する。		○		◎ ・グループで意見交換しながら、協働して課題を解決しようとしている。 【コ①】 ・交流会でできそうな活動を考え、経験と知識を関係付けながら座標軸で整理している。 【情②】	行動観察 ワークシート	
	10	○考えた複数の活動について多面的な視点から分析する。 ・前時に考えた活動について、グループごとに活動のよい点、問題点等を考える。 ・分析したシートを学級内で読み合い、交流会にふさわしい活動を考える。【本時】		○			・複数の活動を多面的な視点から分析している。【情②】	行動観察 ワークシート
	11	○分析結果を基に、交流会で行う活動を決定する。 ・分析した結果を基に、もう一度視点に沿って座標軸に整理し、意見交換をしながら交流会で行う活動を決定する。				○	・互いの意見を受け入れながら話し合っている。【コ①】	行動観察 ワークシート
	12 ・ 13	まとめ・創造・表現（6） ○交流会に向けての準備を行う。 ・活動に必要な物や分担を考え、意見を出し合いながら準備の計画を立てる。 ・友達と意見交換をしながら活動にふさわしい場所を選ぶ。				○	・交流会に必要なものを主体的に考えたり、分担や活動場所をお互いの意見を大切にしながら決めたりしている。【コ①】	行動観察
	14 ・ 15	○交流会に向けての準備を行う。 ・分担や準備の計画を基に、活動に必要な物の準備をする。 ・「海田じらく房」の方たちに楽しんでもらえるよう、ルールを設定する。				○	・「海田じらく房」の方たちに楽しんでもらえる活動になるように内容を工夫しながら準備をしている。【コ②】	行動観察

次	時	学習内容	評 価				評価方法	
			課	情	自	コ		
二	16 ・ 17	<p>○「海田じらく房」の方たちとの交流会を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちが考えた工夫を取り入れた活動を行う。 ・ルールや声かけに気を配りながら、「海田じらく房」の方たちと交流する。 				○	<p>・「海田じらく房」の方たちを招き、楽しんでもらえるような心配りをしながら活動を行っている。 【コ②】</p>	行動観察
三	18	<p>振り返り（２）</p> <p>○ビデオや写真などを見て交流の様子を思い出しながら、活動を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当日の様子を記録したビデオを見返し、お互いの表情や動きなどから、「海田じらく房」の方たちの気持ちを確認する。その中で、交流会に参加された方の感想をおさめたビデオレターも視聴する。 				○	<p>・ビデオや写真，ビデオレターを視聴し，人とかわることで得られる喜びや自己有要感を感じ，自分のよさや可能性に気付くことができる。 【自①】</p>	行動観察 ワークシート
	19	<p>学びのモニタリング</p> <p>○自らの学びや学び方を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の初めに立てた「ゴールの見通し」の視点で振り返りのワークシートを基に自らの学びを振り返る。 				○	<p>・「海田じらく房」の方たちとの交流を通して，自分ができることは何かを考え，日々の生活に生かそうとすることができる。 【自②】</p>	ワークシート

本時の学習

(1) 本時の目標

- 交流会で行う活動を多面的な視点で分析し、交流会にふさわしい活動を考えることができる。

(2) 本時の評価規準

- 交流会での活動について多面的な視点から分析し、ふさわしい活動かどうか考えている。

【課題追究・情報活用能力②】

(3) 本時の学習展開 (10 時間目 / 全 19 時間)

学習活動 ○主な発問 ・予想される児童の反応 □思考の場の工夫	◇指導上の留意事項 ★めざす児童の姿 ◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て	評価規準〔観点〕 (評価方法) ◎本時で付けたい力 ☆育成したい資質・能力
1 前時までの学習を振り返る。 ○これまでの話し合いの中で、交流会でできそうだと考えた活動はどんなものがありましたか。 ・体操 ・あやとり ・折り紙 ・すごろく ・ぬり絵 ・風船ゲーム 2 本時の学習課題を確認する。 めあて _____	◇前時に整理した座標軸を見ながら、本時で分析する活動を確認する。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 「海田じらく房」の方たちとの交流会にふさわしい活動かどうかを考えよう。 </div>		
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 本時のゴールの見通し A：見学や取材での情報を根拠として、高齢者にふさわしい活動かどうかを考えている。 B：相手の立場に立って、高齢者にふさわしい活動かどうかを考えている。 </div>		
3 全体で話し合う。 ○「海田じらく房」の方たちとの交流会にふさわしい活動かどうかをもっとくわしく考えるには、活動をどんな視点で考えるとよいですか。 ・活動の問題点を出し合うとよい。 ・活動をすることでどんなよいことがあるかを考えるとよい。 ・問題点は改善点を考えるとよい点に変わるのではないか。	◇活動のよい点、問題点、改善点に目を向けさせ、それぞれの活動について三つの視点で分析する必要性に気付かせる。	

<p>学習活動</p> <p>○主な発問</p> <p>・予想される児童の反応</p> <p>□思考の場の工夫</p>	<p>◇指導上の留意事項</p> <p>★めざす児童の姿</p> <p>◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て</p>	<p>評価規準〔観点〕</p> <p>(評価方法)</p> <p>◎本時で付けたい力</p> <p>☆育成したい資質・能力</p>
<p>4 それぞれの活動のよい点,問題点をグループで分析する。</p> <p>○それぞれの活動のよい点,問題点を考えましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>□思考の場の工夫 多面的にみる</p> <p>活動のよい点,問題点をマトリクスに書き出して多面的に分析する。</p> </div> <p>「おり紙」</p> <p>よい点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誰でも経験したことがある ・教えてもらうことができる ・できたものをお土産にできる ・活動が不自由な人も取り組みやすい。 <p>問題点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手先の動きが難しい ・時間がかかるかもしれない ・交流が一对一になり,かかわりが少ない。 <p>5 全体で話し合う。</p> <p>○それぞれどんなよい点や問題点があるでしょうか。</p> <p>○交流会で実現できそうな活動は,どの活動でしょう。</p>	<p>◇高齢者の立場に立ち,高齢者にとってよい点と高齢者にとっての問題点を考え,意見を出し合う。</p> <p>◇これまでの交流で気付いた高齢者一人一人の様子や特性を根拠として関連させながら分析ができるよう声かけを行う。</p> <p>◇個人でよい点,問題点を考え,色分けした付箋に書く。</p> <p>◇グループで一つのボーン図により点と問題点を書き込みながら話し合いを進める。</p> <p>◇問題点に対する改善点が話し合いの中で見つかった場合は,黄色の付箋紙に書いて貼るようになる。</p> <p>◆意見が出にくい場合は,「海田じらく房」への訪問で見た,通われている方たちの様子を思い出させるための写真などを用意しておく。</p> <p>◇各グループの意見を大きく書き出したものを黒板に貼り出しながら読み合い,それぞれの活動のよい点と問題点を共有する。</p> <p>◇次時に向けて,個人で交流会にふさわしい活動の見当を付けておく。</p>	<p>☆高齢者の立場に立ち,交流会にふさわしい活動を多面的に考えている。</p> <p>◎交流会での活動について高齢者の視点に立ち,多面的に分析している。</p> <p>〔課題追究・情報活用能力②〕(行動観察・ワークシート)</p>
<p>★めざす児童の姿</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わたしは,交流会にふさわしい活動は「すごろく」だと思います。理由は,椅子に座ったままできるし,サイコロや駒を動かすことを私たちが助けることができ,かかわりあいながら楽しんでもらえると思うからです。 ・わたしは,交流会にふさわしい活動は「風船ゲーム」だと思います。理由は,「動きが速い」「風船が飛んだところまで走らないといけない」という問題点があるけれども,「椅子に座って輪になってする」という改善点を取り入れると,「海田じらく房」の方たちも無理せず活動できると思うからです。せっかく一緒に活動するので,動きのある活動で楽しんでほしいと思います。 		
<p>6 次時の予告をする。</p>	<p>◇本時で分析した活動の中から,交流会で行うものを話し合いで決定することを確認する。</p>	

<参考>学びのモニタリング

学びのモニタリング

あなたにありがとう

くスマイル大作戦く

四年 組 番 ()

① 「海田じらく房」の方たちが楽しめる活動を考えるために必要な情報を集めることができた。

とても まあまあ ふつう あまり まったく

5 4 3 2 1

② 「海田じらく房」の方たちの立場に立って、交流会にふさわしい活動を考えることができた。

とても まあまあ ふつう あまり まったく

5 4 3 2 1

③ 交流会に向けての自分を振り返り、成長したことやこれからに生かしたいことを書きましよう。

・交流会やじゅんびのとき

・交流会のとき